

失神（血管迷走神経反射）

- ワクチンを受けることや血液検査などに対する緊張や、強い痛みをきっかけに生じる体の反応です。
- 新型コロナウイルスワクチンの接種後の事例が報道されていますが、特定のワクチンだけに起きるものではなく、他のワクチンの接種時や、血液検査などのワクチン接種以外の時にも起こることがあります。
- ワクチンの接種後30分ほど、背もたれのあるイスに座って休むことで、転倒してケガをすることを避けることができます。

■ 症状

ワクチンを受けることに対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて、時に一時的に気を失う（失神）ことがあります。

血管迷走神経反射という反応で、誰にでも起こる可能性があり、血液検査などのワクチン接種時以外の時にも起こることがあります。

■ 予防法

血圧が下がったり、脈拍がゆっくりになったりして、脳へ送られる血液量が減少することで起こる症状ですので、横になった状態で接種を受けることで予防できます。

血管迷走神経反射を起こしたことがある方は、事前に接種医に伝えましょう。

■ 治療法・対処法

万一起こったときも、通常、横になって休んだり、頭を低くするために足を上げたりするなどの姿勢をとることで、自然に回復します。

ワクチンの接種後、30分以内に起こることが大半です。気を失った時に倒れてケガをしないように、30分ほどは背もたれのあるイスに座って休みましょう。